



竹中君...?

だちだつたんだけどな...

あーあ

ヒッ

あーあ

あーあ

!!

パ

俺には一人変わった根暗なダチがいる。



コイツの名前は暗井心

第二次成長期を迎えたら、男が女に、女が男になる事があるらしい。



ただそれは本人が本当に望まない限りは起こりえない事らしいのだがこいつは何故か女として成長したようだ。

まあそんな事は俺にとってはどうでもいい事なんだ。

やり!!

オレの勝ちー

トメ技...

ム...

コイツは俺にとって少なくともゲーム仲間の一人で昔からの大事なダチなのは変らない。

ただ、暗井が女になっても変わらず俺はアイツの家で遊ぶと彼女にはあまりいい顔をされなかつたりもする

またあつ!

い、いいだろ別に...

俺だって気兼ねなく遊びたい時もあるんだ。

それにコイツは根暗な所もあるが、人の嫌がる事を一切しない。

暗井ゲームしようぜ

う、うん……

じゃ、じゃあ
僕の部屋で待っててね……

悪く言えば、全肯定マシーンみたいな所がある
奴なんだが、そういう人間といるのは
存外心地よかったんだ……

だからかな……俺は……

ついコイツに愚痴をこぼしちゃった

なあ暗井くセツ〇スって
どんな感じ何だろうな？



俺さ…アイツと付き合って、もう2年
なんだけどさ…まだ何も無いっつうか…

いや、わるい…。

やっぱ今の…

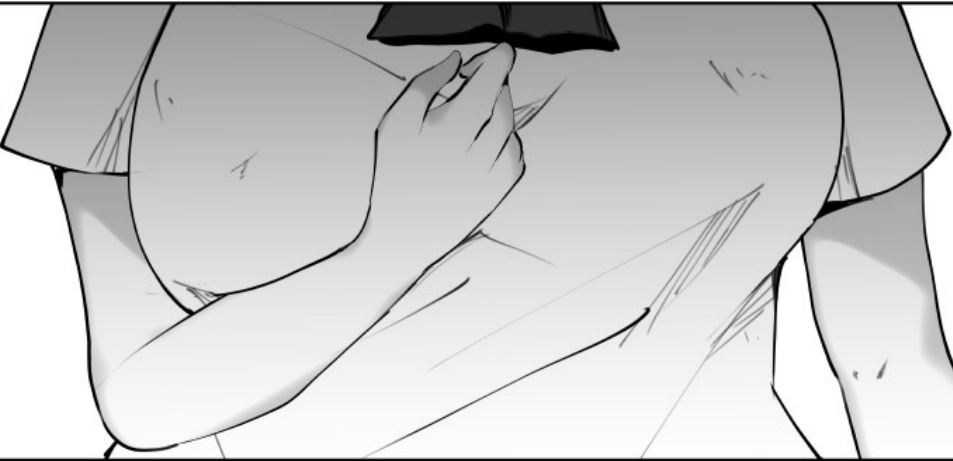
た、竹中君もそいいう事…
きよ、興味あるん…んだ…。

そりゃあ、まあ…
あるけどさ…



そ、そうなんだ…

だったらさ…





僕じゃ……だめかな……？

ムサッ

ムサッ



ムサッ

か、体もね…僕もうちやんと…

お、女の子だから…そ、そういう事…
で、できるよ…

4
ッ

アッ
ッ

っ
!?

やっぱり僕じゃ興奮
しない…?

はっ!? えっ!
ちよっ!



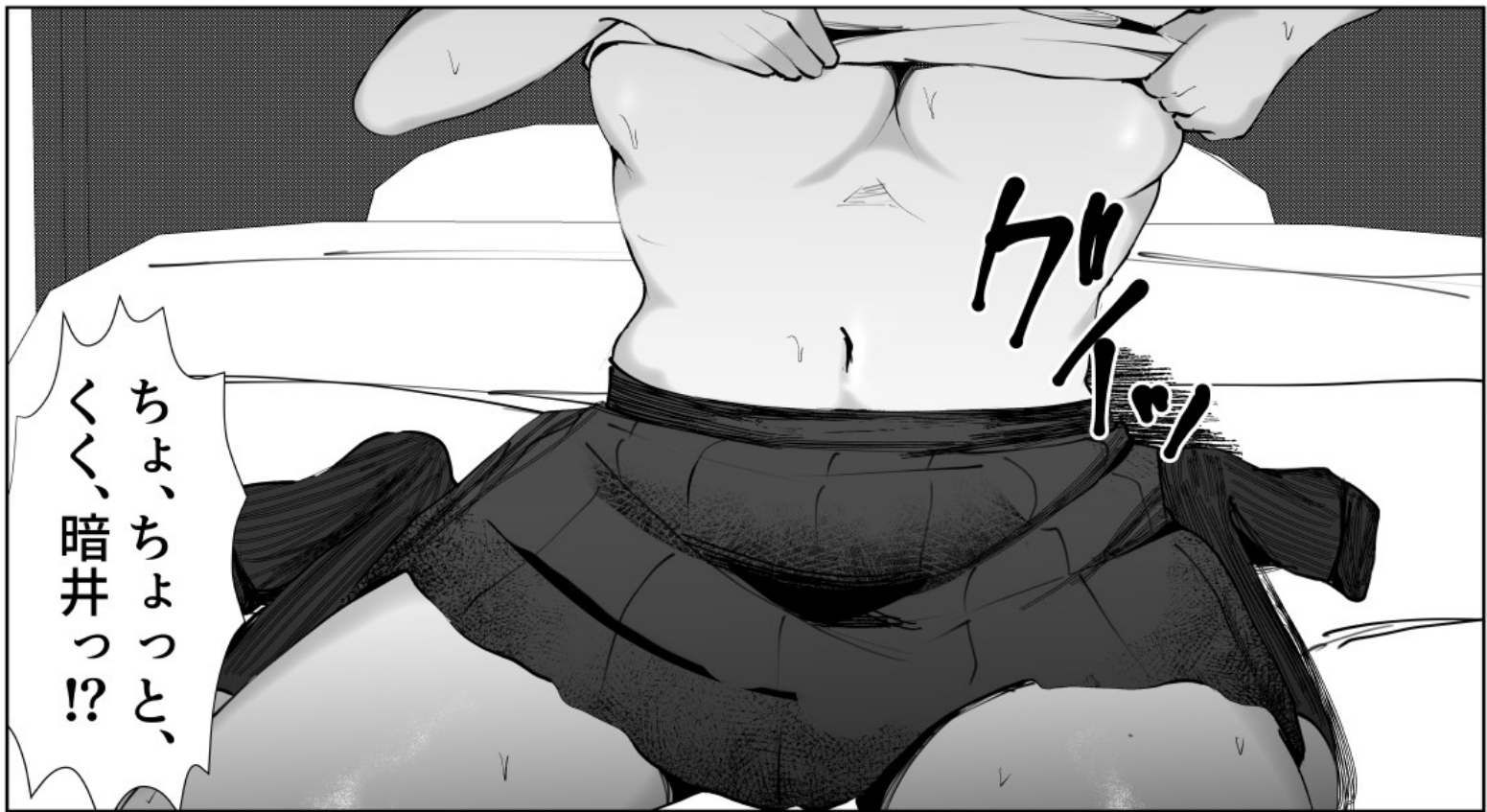
めろろろ

僕だって...めろろろ



僕だってわかってるんだ...

こんな事言っても竹中君が
困るだけな事も...



ハイッ

ちよ、ちよっと、
くく、暗井っ!?



おまっ！おっ！俺は
別にお前でそういう事しようとな…
愚痴ったわけじゃ…



ど、どうかな…？

っ！?



お、おい…くら…い…？



だめだコイツが
何を考えてるのか…
わからねえ…

お、おいっ！





あ……

やべっ……思わず
揉みしだいちまった……



た、勃った……？



いいいんだよな……暗井……
そ、そういう事なんだよな……

ん
ん
ん



ち、乳首
勃っちゃったね……

や

っ
!!

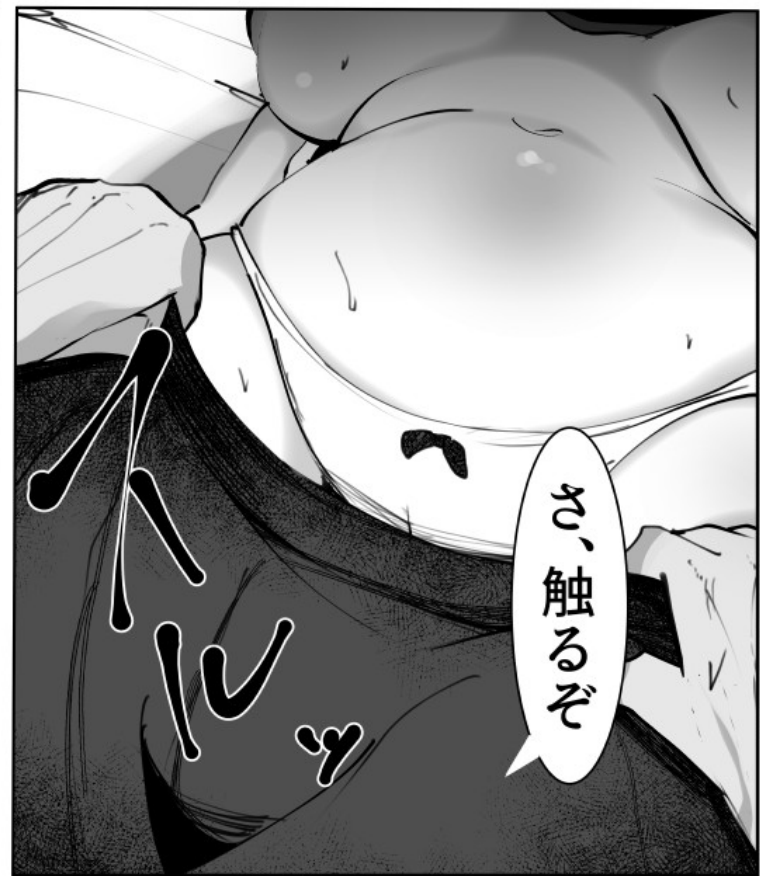


竹中君……？

んんん



竹中君ぞ、そこはっ……



さ、触るぞ

な、何だよ…
お前からいい始めた事だぞ…

で、でもそこは…
き、汚いから…

あーん

びん

んん

んん

んん

サス

んん

こんなにトロトロにさせて、
今さらそんな事気にするかよ…



やっ…そ、そんなに
こすったら…あっ…

ああ、これが
女の体なのか…

暖かくて…柔らかくて…

乳首もクリっとしてて
弾力もあって…

アソコもトロトロにさせて
正直…めっちゃうくちやえろい…



そんなに激しくしたら
な、何だよ... 暗井...

ああ... たけっ... 中くんっ...
そ、そんなに激しくしたら...

擦れば擦るだけ
どんどん愛液が... すごえ...



ダ、ダメッ!!



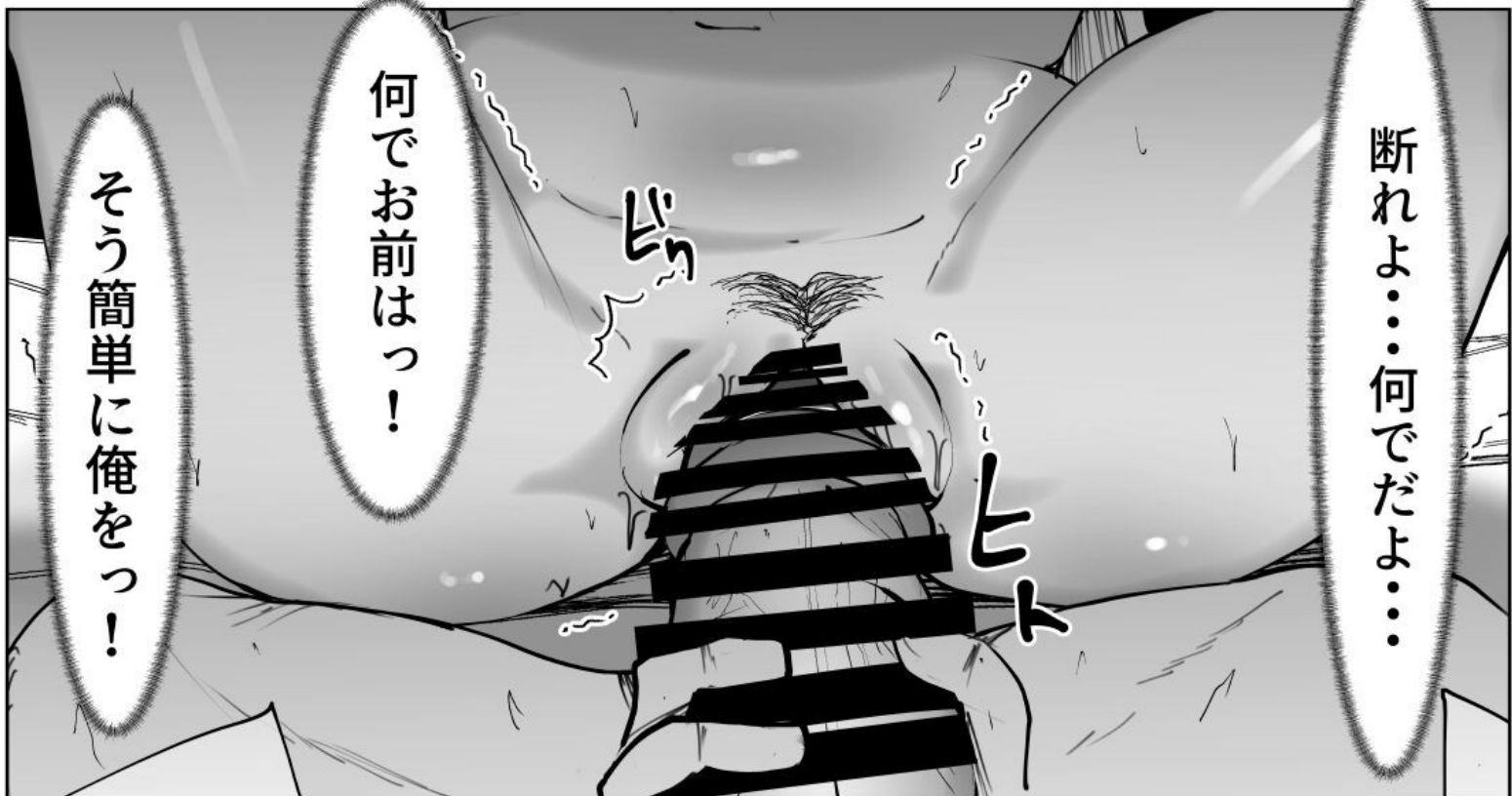
暗井：
挿れるぞ…

嫌なら嫌って言っても…



ククリ

っ!!



断れよ…何でだよ…

何でお前はっ!

そう簡単に俺をっ!



受け入れちまうんだよっ！

グッウ

うっ！

あ
ん
ん

ん
ん



た、竹中君…

な、何だ…



入れた…

いれちまった…

ん
ん





僕はっ……だ、いじよぶ……
だから……き、きて……
竹中君っ……んっ……

俺もうっ！
出そうっ！
出すからなっ！
暗井っ！！いいよなっ！



あああっ！ああああっ！



暗井いいいっつ!!

トッパッ

イッ
タッ
ウッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

出した出しちまった…
俺は…俺の…
一時の快樂のためだけに

それでもこいつは…
嫌がる素振りすらみせない…
俺はもうお前の事が…
わかんねえよ…

ただ…

愛おしそうに自分のお腹を眺める
暗井が…

妙に記憶の隅にこびりついて
離れなくなっていた。





暗井…今…

渡さないから…



あんな行為をした後でも暗井は
ゲームを誘えば拒む事をしない…
俺はコイツがわからない…



な…何でもないよ…

不覚にもその笑顔の裏に隠された言葉に
俺は…ドキリとした…
そして…俺はもう暗井を一人の女としか
見れなくなっていた…

おわり